

ひと ひと

女と男の情報紙

笑がお



見つからない笑顔

華やかな街であるフランスのパリの中、今年の4月、エッフェル塔の前の広場で、おびただしい数の写真がならべられていた。

その写真の人たちの誰一人として笑顔がない。目を大きく見開き、口を真一文字に結んでいる。

近くでは、死者をいたむかのような音楽が奏でられていた。

いったい何の写真なのだろうかと足をすすめたとき、一枚の看板が目に飛び込んできた。

その中であつた「FUKUSIMA」の文字。

よく読むとチェルノブイリの悲惨な事故から26年という言葉がかかれてあつた。

そして「That of Fukushima has only just begun」とあつた。

福島の悲劇は、はじまったばかりとでも訳すのであろうか。

これは原発反対運動なのだとようやく理解した。

東日本大震災でおこつた福島原発の事故は、もはや世界的な話になっていた。

放射能汚染は日本国内だけではなく、世界へと広がっている。写真はチェルノブイリの事故が時を経ても、死者の数を増やしていることをあらわしていた。私たちは同じ悲劇がおこらないようにしなければならない。世界中が注目している。日本のこれからを・・・

私は信じたい。多くの笑顔がもどって来ることを・・・そう、笑顔を取り戻すために、私たちはこれからの未来を考え、つくり出せる力をもっている。

みんなが笑顔でいられるために……………

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを

一緒に考えていきませんか？

イキイキ笑顔人

自分らしく
輝いている人見つけた！



消防の仕事も

吉川・室根交流協会も

原動力は“仲間の笑顔”です。

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな……。吉川消防署長として大勢の署員を率いる森田さんは、プライベートでも地域活動や趣味のスポーツ活動に積極的に関わり、そのリーダー役を引き受けています。いつも大勢の“仲間”に囲まれている森田さんに、イキイキ「笑顔」のわけを語ってもらいました。

ファイルNo.15: 森田 稔さん 59歳

三輪野江小学校、東中学校を経て都内の高校へ進学。昭和46年4月より吉川松伏消防組合に勤務し、勤続41年になる。2人の子供を独立させ、現在は妻と2人暮らし。吉川市在住。

元気になった救急患者さんの笑顔

吉川に消防組合が発足したのは今から40年前の4月ですが、ちょうどその頃学校を出る私に祖父が強く勧めてくれたのが就職のきっかけでした。採用試験に合格後、消防学校で基礎訓練を受け、私の消防署勤務がスタートしました。当時の吉川の人口はまだ2万人ほどで現在の約1/3以下、消防署の職員も現在の約1/4程度。病院も数えるほどしかなかった時代です。

消防の使命は、市民の生命と身体と財産を守ること。救急隊員としての任務を長く専門にしてきた私は、出動の度に「いかに患者さんの意識のある内に医師に手渡すか」を最優先課題にしてきました。これまで数え切れないほどの出動経験の中で何より嬉しいのは、元気に回復された患者さんや家族の方からの報せです。手紙や電話、時には消防署に訪ねてこられてお礼の言葉をいただくこともあって、そんな時に会う笑顔は仕事の一番のやりがいにつながりますね。

東北人の素朴さに惹かれて

私は人と一緒に何かをすることが楽しいと感じる性格らしく(笑)、消防署勤務のかたわら市民としてのボランティア活動にも二つ参加しています。

一つは、学生時代から始めたソフトテニスを友人たちと続けているうちに引き受けることになった吉川市の体育連盟の活動で、現在は副会長を務めています。

もう一つは、吉川・室根交流協会の活動で、これは平成8年の発足当時から会長として関わることになり、今年で15年になります。

私が初めて室根町を訪れたのは発足した年の初冬でしたが、厳しい寒さの中で迎えてくれた人たちの素朴で温かな

人柄に惹かれて、何か自分なりにできることを続けられればと思いました。

その後、吉川市と一緒に、子供たちを対象にした夏休みの両市町間の訪問事業や市民まつりの物産販売など、さまざまな交流を毎年続けて現在に至っています。

義援金を届けて訪ねた被災地

5月上旬、東日本大震災で被災された一関市に、交流協会会で募金をした「災害復興義援金」を直接届けてきました。室根町内には一見大きな被害はないようでしたが、気仙沼市など近隣の被害は想像以上に大きなものでした。

一面の瓦礫の山となった気仙沼市内に近づくと、陸に打ち上げられたままの大きな漁船がいくつもあり、あたりには魚の腐った臭いがたちこめ、津波の被害の甚大さに言葉にできないほどのショックを感じました。対応してくれた関係者の方々自身も被災されていて、ご家族がまだ見つからない方もいました。慰める言葉が見つからず、ただ聞き入るばかりでした。「やっとお風呂に一日おきに入れるようになりました」、「ようやく毎日三食の食事ができるようになって」といったことを耳にして、あらためて被災地の大変さを思い知りました。

復興を祈りながら、交流協会ではこれからも募金活動を続けます。多くの市民の方にご協力いただければありがたいと思っています。よろしくお祈りします。

大切にしたい人と人の輪

消防署の仕事も、ボランティア活動も、人と人が繋がりチームワークを大切にしなければ成り立ちません。

吉川消防署には、54人の消防署員がいて、24時間勤務

を交替でこなしています。署長の私がめざすのは、それぞれの特性や良さを発揮し合いながら、お互いに補い合える家族のような輪ですね。

ボランティア活動も、本質は同じような気がします。幸い交流協会で一緒に活動する理事の方たちとは、発足以来15年、誰一人辞めず、現在は理事も増え、協力し合える仲間です。男性も女性もいて、職業も立場もさまざまな方と過ごす時間はとても楽しく、自分の視野も広がります。ありがたいですね。

私が生まれ、育ち、暮らしている吉川の移り変わりを見ると、若い世代の人たちが地域の活動にもっと参加して欲しいと願っています。3月にあった大震災の体験でも、日頃の防災訓練の大切さが実証されました。意識も大切ですが、実際に身体で体験することで、災害時に自分や家族を守る行動がとれるはず。町会の防災訓練などに、気楽に参加して欲しいですね。



吉川消防署にて 救助隊とともに

室根っ子探検隊in吉川2011 参加者・協力者 募集!

この夏、室根の子供たちが、吉川市にやってきました。
一緒に交流してくれる子供たちや、食事作りのボランティア
の参加者を募集します。

イキイキ笑顔の人に「登場頂いている(2〜3ページ)森田さんが会長を務める「吉川・室根交流協会」が、この夏「室根っ子探検隊 in 吉川2011」と題し、東日本大震災で、隣町の大規模な被災状況を目の当たりにした子供たちに、吉川市で楽しい時間を過ごしてもらおうイベントを開催します。

このイベントで、室根町の子供たちと交流してもらう吉川市の子供たちと、子供たちに手作り夕食を作ってもらくボランティアの方を募集します。

吉川っ子 募集

草加市伝統の「おせんべいの手焼き体験」や室根町児童の歓迎会に参加して、楽しい夏休みの思い出にしよう!

日時 8月6日(土)午後2時〜7時(午後2時に市役所玄関前集合、午後7時に旭地区センターで解散となります)

対象 市内在住の小学校4〜6年生

定員 12人(応募多数時は抽選)

費用 500円

お申込・問合せ 7月20日(水)までに所定の申込書市民参加推進課窓口、おあしす、中央公民館に配置に必要事項を記す。

入・参加費を持参の上、吉川・室根交流協会事務局市民参加推進課内へ直接
※申込書は市ホームページからダウンロードすることができます。

食事作りのボランティア 募集

昨年は、一関市室根町から25名の児童が来てくれました。私たちと一緒に夕食作りをしませんか?

日時 8月6日(土)・7日(日)

午後3時集合

場所 旭地区センター

お申込・問合せ 7月20日(水)までに市民参加推進課へ電話でお申し込みください。



男女共同参画週間

6月23日～29日

6月23日(木)～29日(水)は、男女共同参画週間です。

「男女共同参画」は、男性も女性も全ての人に関係しています。あなたも、この機会に「男女共同参画」について、考えてみませんか？

おあしすへお越しください

期間中、下記のとおり、男女共同参画に関する展示を実施しています。

内容・場所

- ① 「第3次吉川市男女共同参画基本計画」の進捗状況や、その他、男女共同参画に関する掲示物の展示・おあしす2階フリースペース
- ② 男女共同参画に係る図書・市立図書館

こんな図書があります

市立図書館にあるおすすめの図書を紹介します。

『ワーキングマザーバイブル』働き続けたいアナタへ

ムギ畑 WMB 制作委員会編 講談社 2010.9



現役 WM 及びその予備軍に届ける、現実の生の声と生きる知恵と情報が満載の一冊です。

育児と仕事の両立をはじめキャリアアップ、趣味、家事、家族、パソコンなどさまざまな分野に興味は尽きません。保育園はどんなところ？一人で抱え込まずに上手に「頼る力」「手放す技術」を活用しましょう。

明るく働き続けるワーキングマザー(WM)及びその予備軍のためのインターネット上の集団、“ムギ畑”の主催者勝間和代の監修。

募集しています!!

- この情報紙「笑がお」作成に参加して頂ける方を募集しています。
 - この情報紙「笑がお」に掲載する「笑顔」の写真も募集中です。
- いずれも、下記あてにお気軽にお問い合わせください。

発行 笑がおの会・吉川市

※「笑がおの会」は、吉川市男女共同参画推進市民会議OBの活動から生まれました。

問合せ 吉川市 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当

〒342-8501 埼玉県吉川市吉川 2-1-1

☎048(982)9685 FAX048(981)5682 ✉yoshikawa-mail@city.yoshikawa.saitama.jp

※題字については、榎田民子さんのご協力をいただきました。